

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年09月13日

計画の名称	快適な住まい環境のまちづくり重点計画												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	湖西市												
計画の目標	家庭雑排水等による水環境の悪化に対し、公共下水道を効率的に整備し、住民が快適に居住できるまちづくりを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,520	A	2,520	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	下水道処理人口普及率をR2当初43.5%からR6末50.4%に増加。 総人口に対して公共下水道を利用できる人口の割合 下水道処理人口普及率(%) = 公共下水道処理区域内人口(人) / 行政人口(人)	43%	48%	50%
2	汚泥処理の共同化率をR4当初0%からR5末100%に増加。 湖西市環境センターへ汚泥受入棟を整備し、し尿汚泥と下水汚泥を集約処理することによる、汚泥処理の共同化率	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

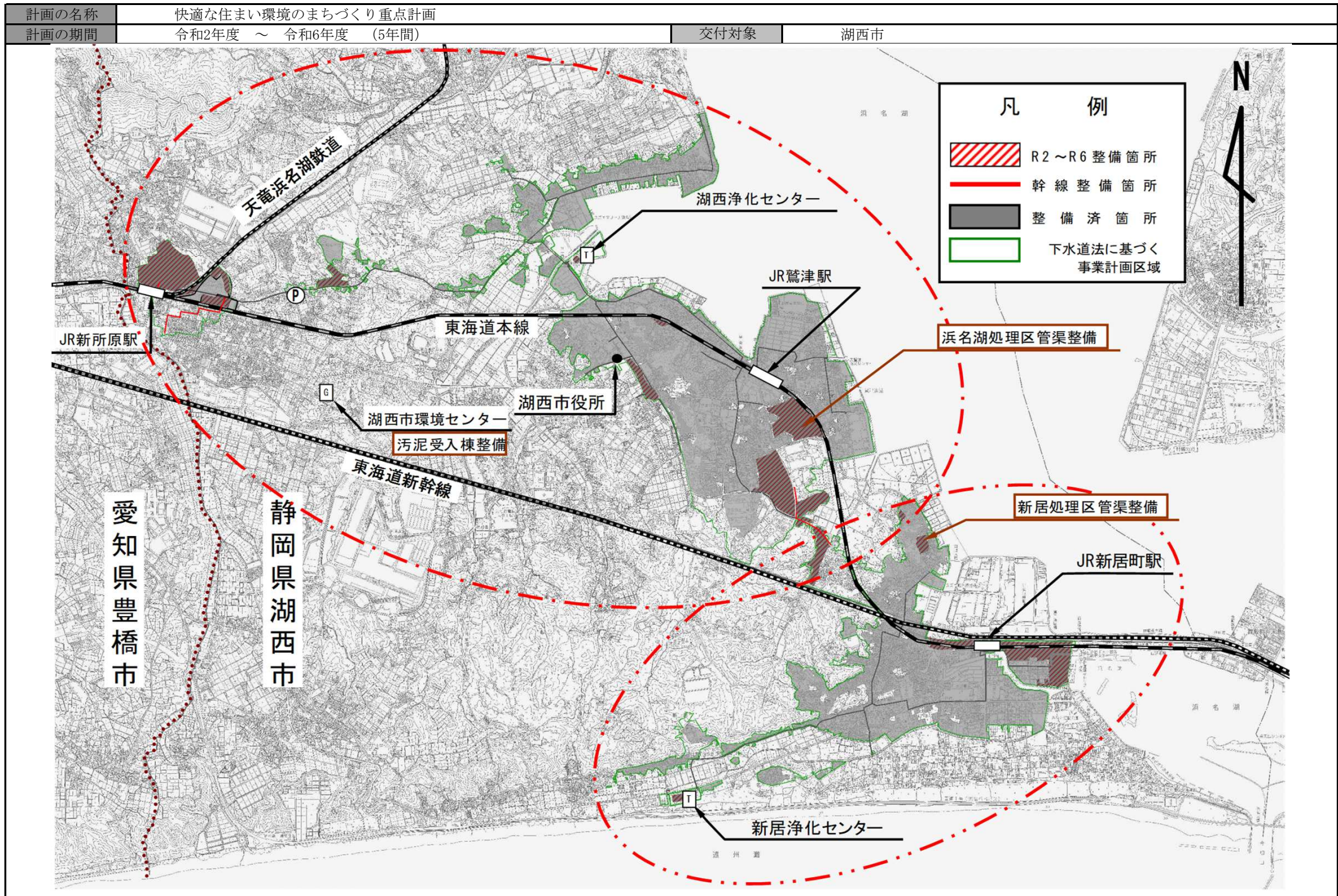
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	湖西市	直接	湖西市	管渠(汚水)	新設	浜名湖処理区管渠整備 (未普及解消)	下水道管 75~600mm L=13,731m A=89.1ha	湖西市						1,845	-	
	A07-002	下水道	一般	湖西市	直接	湖西市	管渠(汚水)	新設	新居処理区管渠整備 (未普及解消)	下水道管 200~250mm L=2,789m A=29.0ha	湖西市						375	-	
	A07-003	下水道	一般	湖西市	直接	湖西市	終末処理場	新設	湖西市環境センター共同 汚泥処理施設(汚泥受入棟)新設	汚泥受入棟 N=1棟	湖西市						300	-	
												小計						2,520	
												合計						2,520	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03			
配分額 (a)	142	112			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	142	112			
前年度からの繰越額 (d)	0	61			
支払済額 (e)	81	160			
翌年度繰越額 (f)	61	13			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式2) 参考図面 (社会資本整備総合交付金 記載例)



事前評価チェックシート

計画の名称： 快適な住まい環境のまちづくり重点計画

事前評価		チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性		
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等との整合性が確保されている。		○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応		
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。		○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性		
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。		○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。		○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果		
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認される。		○
III. 計画の実現可能性 地元の機運		
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。		○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境		
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

2) 計画について住民等との間で合意形成が形成されている。

○